

真空注型サービス



データ受領から最短翌日で納品
樹脂の種類・表面処理・形状・塗装など細かく対応！

真空注型は、マスターモデルをもとにシリコン型を作製し、真空に近い槽の中で型にウレタン系樹脂を流し込み樹脂製品を複製していきます。
 金型に比べ、製作時間・コストともに大幅に削減し、試作～小ロット量産まで短納期で対応可能。卓越した独自工法の注型技術で、いかなる形状にも果敢にチャレンジしています。

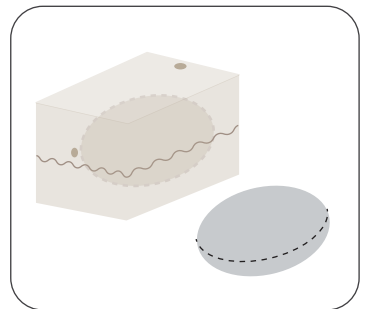
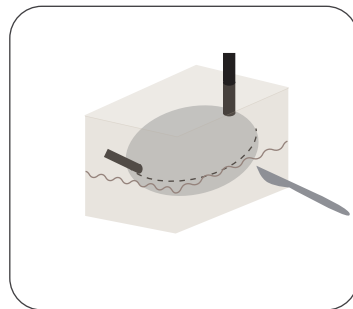
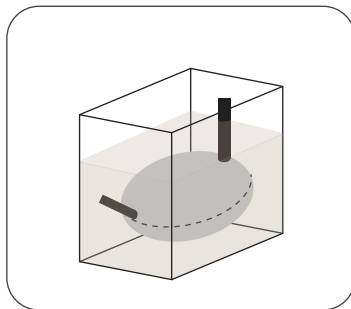
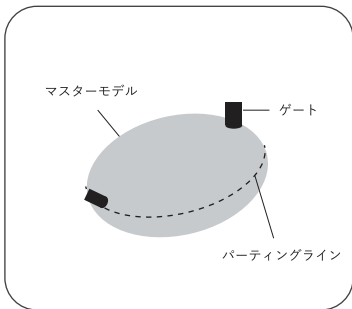
真空注型の流れ

パーティングラインとゲートの位置を決める

型枠を組みシリコンを流し込み硬化させる

型をパーティングラインに沿って切る

マスターモデルを取り出す

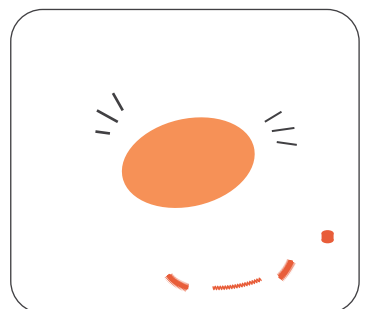
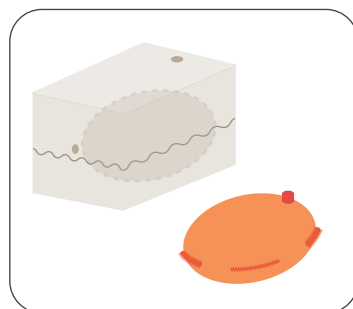
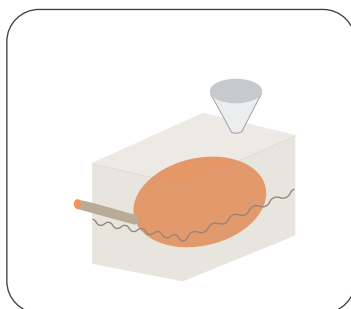
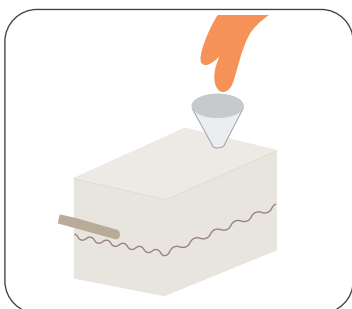


真空槽にシリコン型と樹脂をセットし、真空状態で脱泡して樹脂を流し込む

温度管理された槽に型を移し樹脂を硬化させる。(樹脂によって約60分・120分)

硬化後、型から製品を取り出す

取り出した製品のバリやゲート部分を仕上げて完成



真空注型の使用用途

デザイン

意匠・形状の確認やデザインの評価が可能な実モデルに近い試作品をご提供。プレゼンテーションや販促用サンプルとして実用に耐える品質をお約束します。

開発・設計

真空注型による試作品を用いることで、機能確認、性能評価、実装評価、可視化評価といった開発プロセスにおける各検証をスムーズに行うことができます。

生産・製造技術

金型や生産工程の検証に利用できるだけでなく、小ロット生産品であれば真空注型での量産も可能です。金型を起す必要がないためコストを大幅に削減することができます。

医療

クロスエフェクトでは最新の真空注型技術により、精巧な心臓モデルやその他様々な部位の臓器モデルを作成することが可能です。

標準材料

お客様の様々なご要望に応えるために、幅広い樹脂バリエーションを用意しております。

RU-751 (ABSライク)
(標準色:ベージュ・黒・乳白)

真空注型用に開発されたトータルバランスの良いポリウレタン樹脂。折れにくく、汎用ABSにより近い物性になっています。

RU-652 (PPライク)
(標準色:黒・乳白)

PE及びPPの試作を対象に開発された真空注型材料。曲げ弾性率が低く、また伸び率が大きいため、PE/PPの成型品に近い物性とされています。

ハイキャスト3751 (アクリルライク)
(標準色:透明)

無色透明タイプの真空注型材料です。透明性に優れています。

RU-843 (エラストマーライク)
(標準色:黒・乳白・透明)

真空注型用ウレタンエラストマーです。20～90度までの硬度が選択できます。

PX234 (耐熱グレード)
(標準色:琥珀色)

高耐熱性に優れた真空注型材料。なおかつ高耐衝撃性・高弾性に優れています。

プリンゲル
(標準色:ベージュ・透明)

人間の肌に関わりなく近いゲルを目指して開発されました。超低高度であっても強度があります。反発性がある反面、表面粘着性があるという欠点があります。

※その他の材料も取り揃えておりますのでお気軽にお問い合わせください



マスターモデルの表面処理を変えることでツヤ感を出すことやシボ加工が可能です。



注型樹脂に色を練りこむことでカラーリングも幅広く対応可能です。

